

本市の景観の形成の方向性を示すマスタープランとしての役割を果たすとともに、個別の建築物や工作物の行為に関する景観の形成の誘導方針を明確にするため、良好な景観の形成に関する方針を定めます。

1 景観形成の基本理念

本市は、神宮林をはじめとした緑深い山々、清流宮川、五十鈴川をはじめとした水脈、穏やかな伊勢湾など豊かな自然風土に恵まれています。また、「お伊勢さん」のまちとして、古くから多くの人々を迎え、様々な交流の中で、歴史的なまちなみや建造物をはじめとして多くの地域固有の歴史文化が培われてきました。これらの自然風土と歴史文化を後世に伝えていくことは私たちの責務です。

神宮の社殿は白木の建築であり、「生成り」の良さ、つまり素材そのものの良さを生かした建築です。そこで、神宮のお膝元である本市では、建築物の建築等において木材や石等、素材の良さを生かした意匠とする等、「生成り」の良さを生かすことをテーマとします。

また、「景観10年、風景100年、風土1000年」といわれるように、風景や風土が形づくられるのには大変長い年月がかかりますが、失われるのは一瞬です。美しい景観を形づくっていくためには、そこに住む一人ひとりが、先人が培ってきた美しい景観を大切に守り、つくり、育てる意識を持つことが重要であり、それが「住む人の誇り」となり愛着が感じられる景観を形づくることとなります。そして、それがまた、訪れる人への魅力となる景観となります。

これらを踏まえ、豊かな自然風土と個性あふれる歴史文化を生かし、住む人の誇りとなる伊勢の景観を守り、つくり、育てるために、本市の景観形成の基本理念を次のとおり定めます。

「生成り」の良さを生かし 住む人の誇りとなる伊勢の景観を守り、つくり、育てる

【参考文献】

「日本とは何か」/ 堺屋太一

・・・こうした中で一つ、日本文化全体の特色として、挙げられるのは「生なりの文化」である。「生なり」とは、「生地^{きじ}のまま」とか「ありのまま」「自然のまま」ということで、これまでも日本の白木の建築や素材美をたいせつにする工芸などでは指摘されていた。(中略)私はこれを、建築や工芸などの分野に限られたものではなく、全分野にわたる日本文化の特色として取り上げることにした。

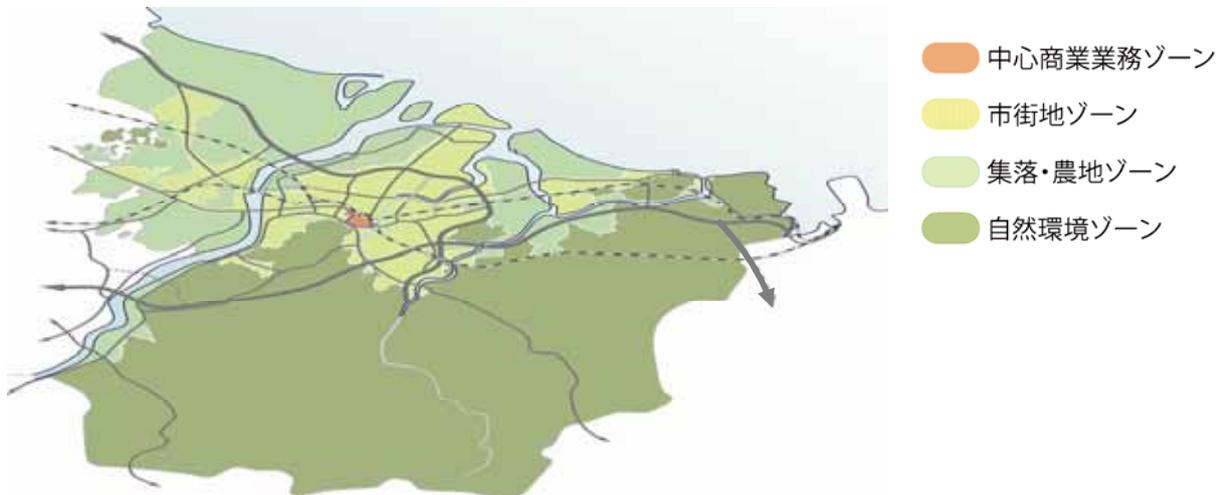
大辞林 / きなり 【生成り/生形】

(1) 生地^{きじ}のままで、飾り気のないこと。

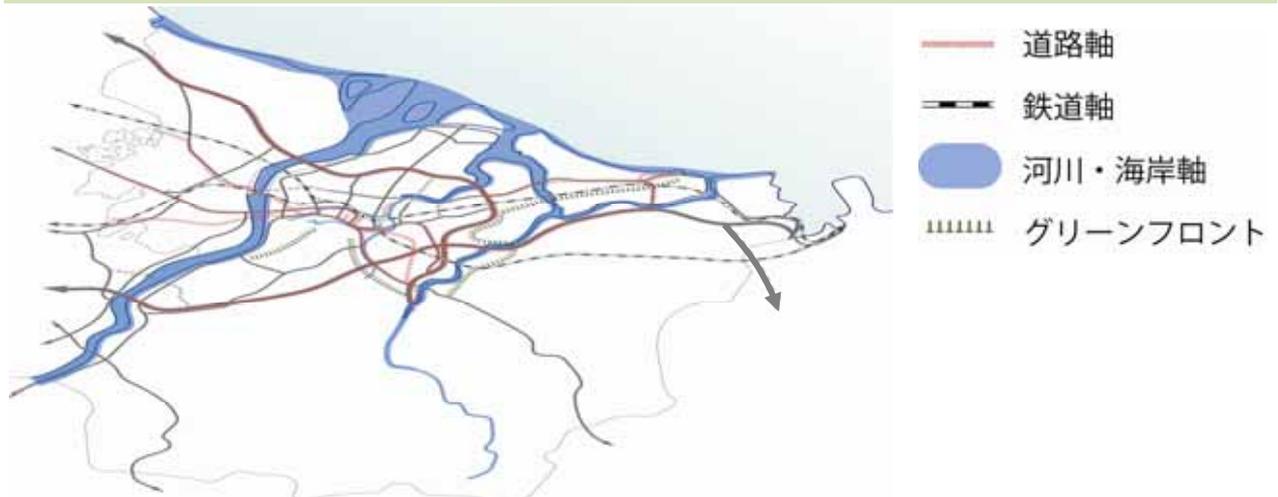
2 景観形成の方針

景観形成の方針は、都市マスタープランの土地利用、軸、拠点の分類を基本として、景観形成と関係の深いものについて、次のとおり方針を定めます。

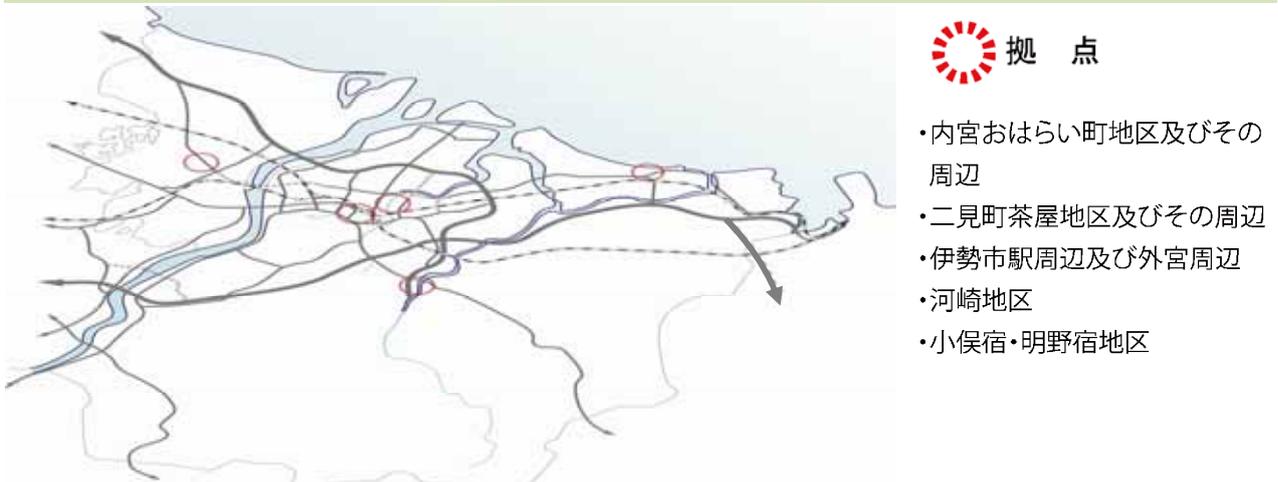
土地利用ゾーン別の景観形成の方針



軸別の景観形成の方針



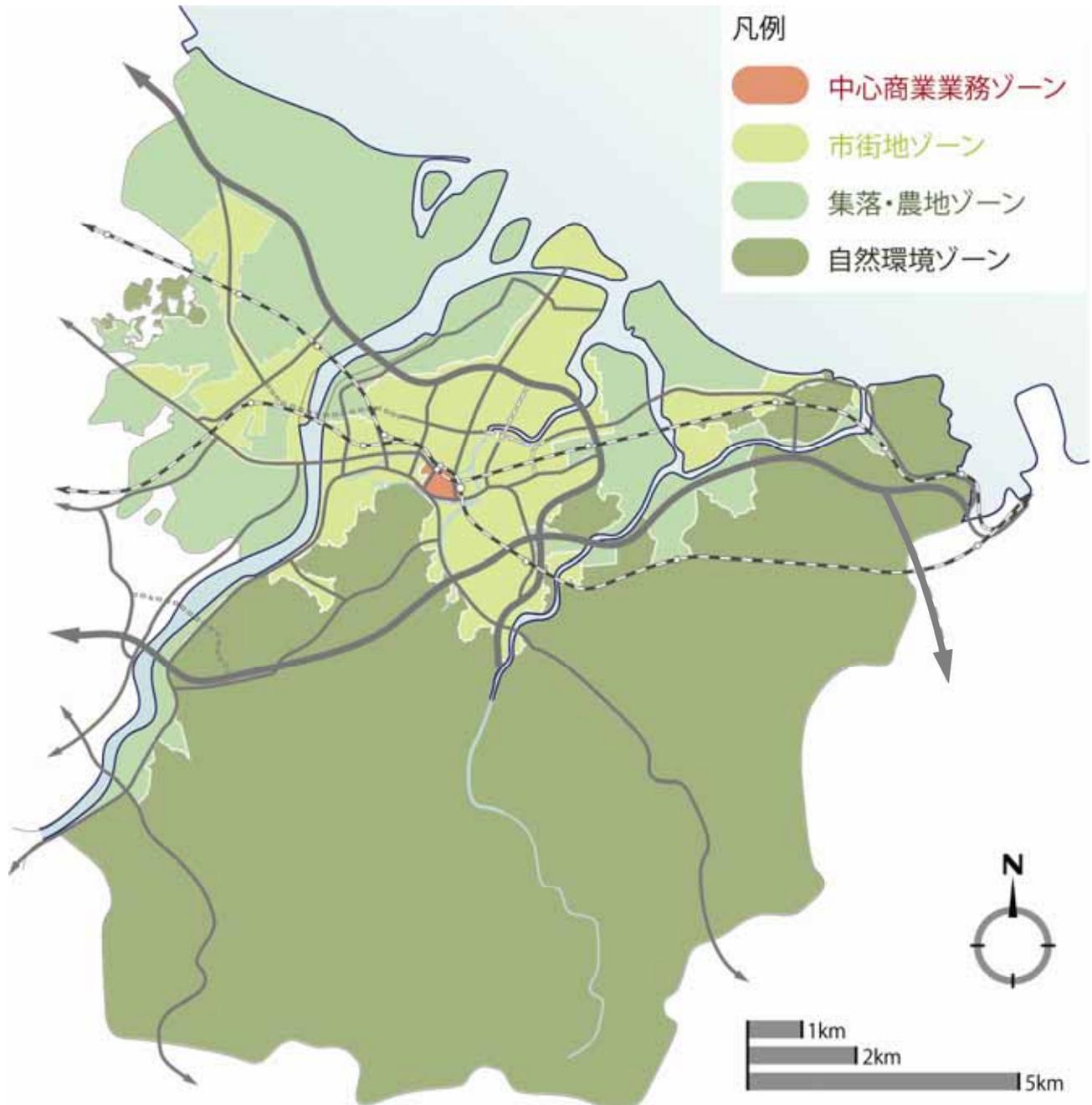
拠点別の景観形成の方針



(1) 土地利用ゾーン別の景観形成の方針

本市は、市域の南東部に山林が広がり、河川流域に形成される市街地を経て北部の田園地帯へと展開する都市構造をもちます。このため、都市マスタープランでは、4つの土地利用ゾーンに分類し、良好な自然景観や農地の適正な保全と活用を基調とし、コンパクトな暮らしやすい都市づくりを目指すことを基本方針としています。

そこで、景観計画においても、都市マスタープランにおける4つの土地利用の分類を基本として、地形や景観の特性を踏まえ、土地利用のゾーン別の景観形成の方針を示します。また、ゾーン内の景観要素ごとに方針及びその方針の実現に向けた手段を示します。



土地利用ゾーン別の景観形成方針図

中心商業業務ゾーン

【景観特性】

中心市街地ゾーンとなっている山田のまちは、外宮の鳥居前町として、お伊勢参りの参宮客をもてなす御師^{おんし}の館が広がり、宿場・市場・川港等、多様な要素を持った都市として繁栄してきました。明治以降、鉄道が整備され、戦後には戦災復興計画等により区画整理が行われるとともに広域的道路網が整備されました。

現在は、中心部の利便性を活かした商業・業務施設が立地していますが、空き店舗の増加や人口減少・高齢化により賑わいが低下しています。また、街区の中には、世古と呼ばれる中世から残る細い道や豊川などの小河川があり、落ち着いた歩行者空間が形成されています。

【景観形成の方針】

まちな顔として賑わいのある魅力ある景観の形成

【景観要素ごとの方針】

商業業務地

まちな顔づくり・賑わい創出・魅力ある歩行者空間の形成

- ・伊勢志摩地域の玄関口として、また、まちな顔として市民が誇りを感じられるよう、低層部の工夫等により、賑わいと魅力ある歩行者空間の形成を図る。

外宮の鳥居前町としての歴史への配慮、歴史的な資源の活用による景観形成

- ・外宮の鳥居前町として発展してきた歴史に配慮し、外宮、月夜見宮をはじめ地域に点在する歴史的な資源を踏まえた景観の保全を図る。

まとまりある景観の形成・周辺との調和

- ・まとまりのある景観が形成されるよう、周辺との調和のとれた建築物群により、一体的かつ連続的なまちなみの形成を図る。

潤いのある歩行者空間の形成

- ・シンボルツリーや花等の設置などによる緑化空間や小河川の再生による水辺空間の確保により、潤いのある歩行者空間の形成を図る。

住宅地

外宮の鳥居前町としての歴史への配慮、歴史的な資源の活用による景観形成

- ・外宮の鳥居前町として発展してきた歴史に配慮し、外宮、月夜見宮をはじめ地域に点在する歴史的な資源を踏まえた景観の保全を図る。

良好な住宅地景観の形成

- ・地域で育まれてきた約束事を守るなど、周辺の建築物との調和に配慮することにより、落ち着きのある住宅地景観を保全するとともに、新たなルールづくりなどにより、地域の景観特性を活かしたゆとりある住宅地景観の創出を図る。

潤いのある歩行者空間の形成

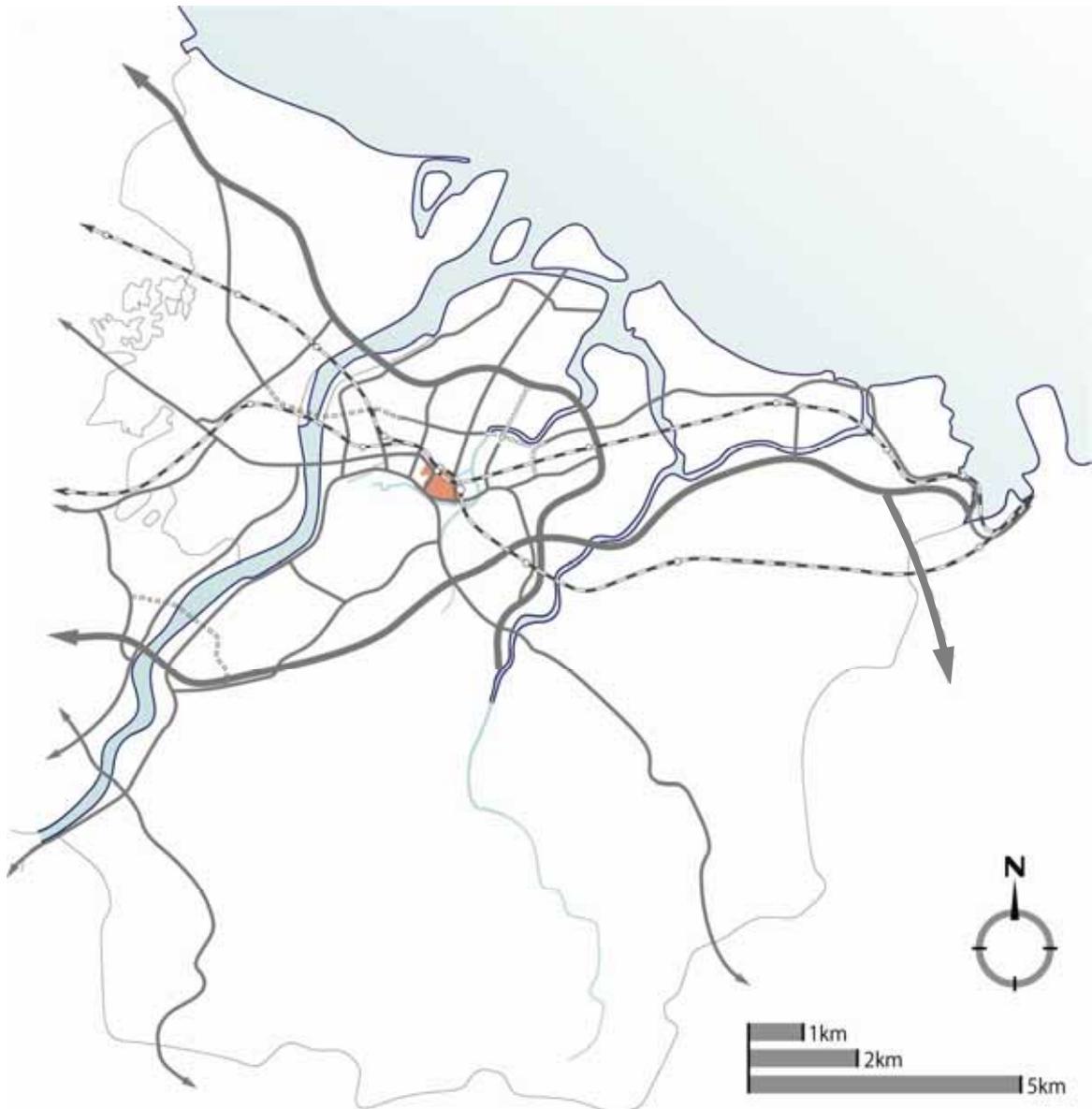
- ・花等の設置や、庭木や生垣の植栽などによる、潤いのある歩行者空間の形成を図る。



伊勢市駅前



伊勢市駅周辺



中心商業業務ゾーン図

市街地ゾーン

【景観特性】

市街地ゾーンにおいては、中世には、内宮の鳥居前町として宇治のまちが形成され、近世には、伊勢街道沿いに小俣宿や明野宿といった宿場町が形成されるとともに、山田のまちから宇治のまちへと続く古市街道沿いに遊郭が建ち並ぶまちなみが形成されていました。一方で、かつての神宮の外港であった大湊は、交易と造船の町として栄え、舟参宮客を迎える神社港とともに繁栄しました。

明治以降、幹線道路が整備されるとともに市街地は拡大し、近年は郊外型の宅地開発が進むなど、山林や農地であった部分についても徐々に宅地化が進んできています。

現在は、古くからの集落や新たに開発された落ち着いた住宅地、幹線道路沿道の自動車利用主体の商業・業務地等、性格の異なる地域が混在する景観となっています。

【景観形成の方針】

住宅地・商業地・工業地など、多様な地域特性に応じた景観の形成

【景観要素ごとの方針】

商業 業務地	周辺（山並み）への配慮 ・建築物等の規模・配置や形態意匠の工夫などにより、背景となる山並みの稜線や丘陵地などの地形との調和に配慮する。 潤いのある道路空間の形成 ・街路樹やシンボルツリーによる緑化、花等の設置などにより緑化空間を確保し、潤いのある沿道景観の形成を図る。
住宅地	周辺（山並み）への配慮 ・建築物等の規模・配置や形態意匠の工夫、外構の緑化などにより、住宅地の背景となる山並みの稜線や丘陵地などの地形との調和に配慮する。 落ち着いた住宅地景観の形成 ・地域で育まれてきた約束事を守るなど、周辺の建築物との調和に配慮することにより、落ち着いた住宅地景観を保全するとともに、新たなルールづくりなどにより、地域の景観特性を活かしたゆとりある住宅地景観の創出を図る。 潤いのある歩行者空間の形成 ・庭木や生垣の植栽などにより、潤いのある歩行者空間の形成を図る。
集落 既存	特徴ある集落の景観の保全 ・背景となる山並みやまとまりのある農地との調和に配慮するとともに、地域の景観を特徴づけるまちなみが残る集落景観の保全を図る。
里山	里山の保全 ・木竹の伐採は最小限とし、道路等公共の場所から望見できる敷地や擁壁等を緑化により修景するなど、里山の保全を図る。

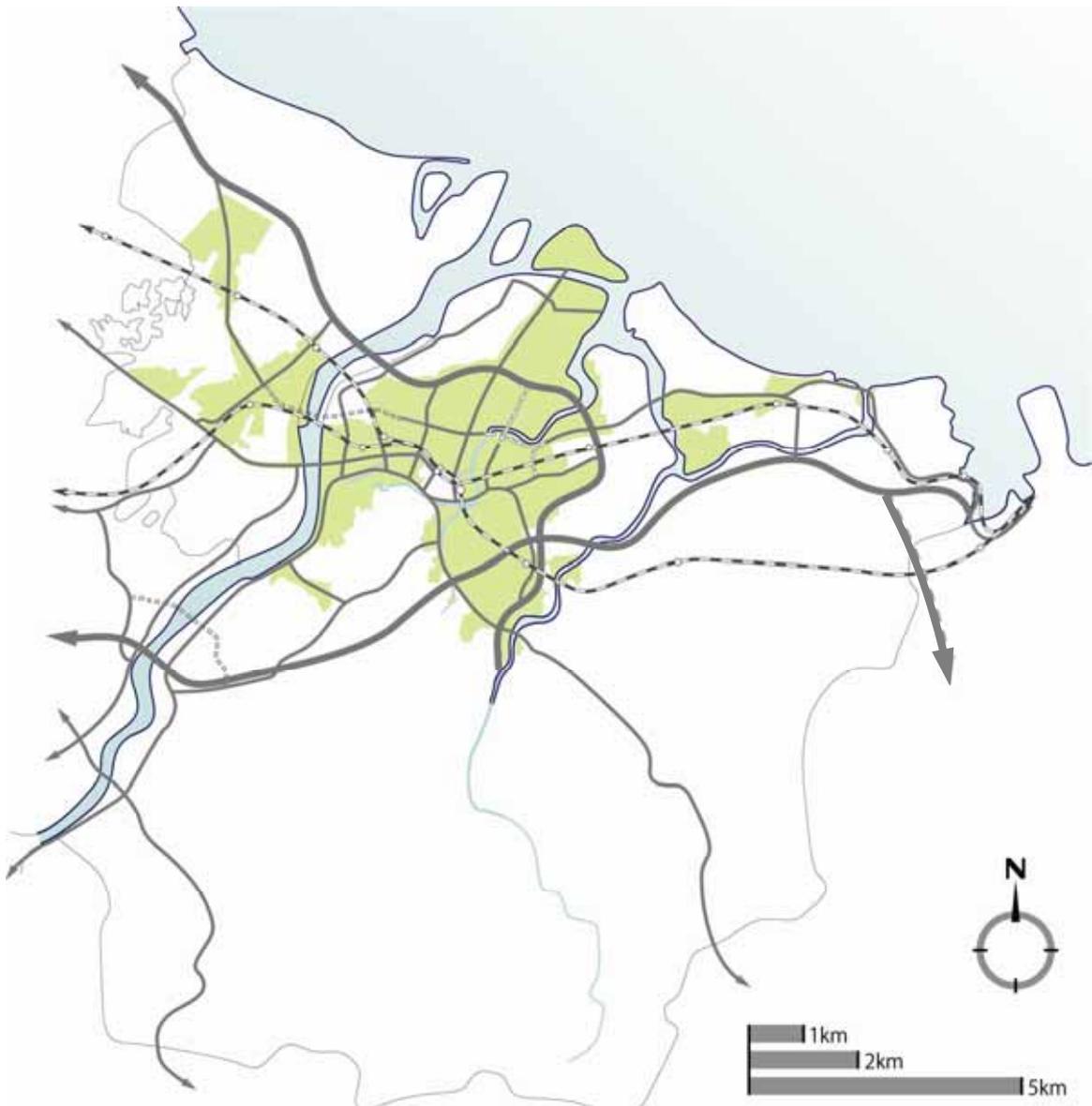
- 周辺（住宅地・田園景観）への配慮
- ・敷地内及び敷地境界部への緑地帯の設置などにより、周辺の住宅地やまとまりのある農地との調和に配慮する。
 - ・周辺に圧迫感を与えないよう、規模・配置や形態意匠を工夫する。



二見町光の街の住宅地景観



神社港の住宅地景観



市街地ゾーン図

集落・農地ゾーン

【景観特性】

集落・農地ゾーンは、宮川左岸に一体となって広がっているほか、御園地域、二見地域の北西部や四郷地域、南部の山林の山間などに、ある程度のまとまりが見られます。

米づくりを主体とするほか、施設園芸、畜産などが営まれ、それぞれの農業の特色を活かした景観が形成されています。また、伊勢湾沿岸部では漁業が営まれ、有滝や今一色などでは農漁村集落の面影を残しています。

一方で、後継者不足等により、無秩序な市街化が進んでいる地域もみられます。

【景観形成の方針】

集落や周辺の間々調和した落ち着いた田園景観の保全

【景観要素ごとの方針】

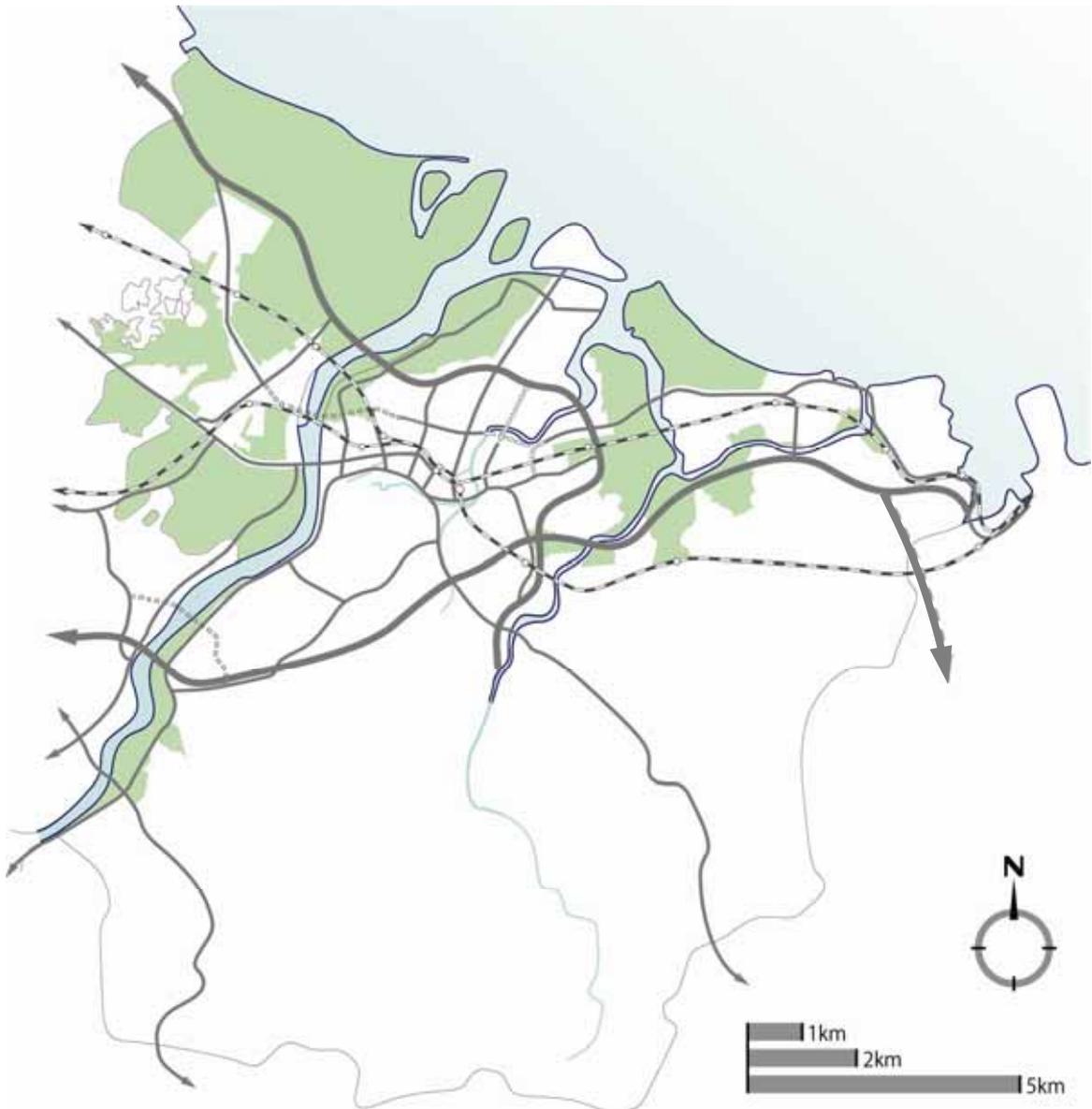
商業業務地	周辺（田園景観）への配慮 ・建築物等の規模・配置や形態意匠の工夫などにより、背景となる山並みの稜線との調和や、まとまりのある農地の保全に配慮する。 ・敷地境界部に緑地帯を設置するなど、周辺のまとまりのある農地との調和に配慮する。
住宅地	周辺（田園景観・山並み）への配慮 ・建築物等の規模・配置や形態意匠の工夫、外構の緑化などにより、背景となる山並みの稜線との調和や、まとまりのある農地の保全に配慮する。 落ち着いた住宅地景観の形成 ・地域で育まれてきた約束事を守るなど、周辺の建築物との調和に配慮することにより、落ち着きのある住宅地景観を保全するとともに、新たなルールづくりなどにより、地域の景観特性を活かしたゆとりある住宅地景観の創出を図る。 潤いのある歩行者空間の形成 ・敷地内や敷地境界部への庭木や生垣の植栽などにより、潤いのある歩行者空間の形成を図る。
集落 既存	特徴ある集落の景観の保全 ・地域の景観を特徴づける家並みや石積みの外構等が残る集落景観の保全を図るとともに、背景となる山並みやまとまりのある農地との調和に配慮する。
田園	田園景観の保全 ・平地部に広がるまとまりのある農地の保全を図る。 農地と山並みの一体的な景観の保全 ・形態意匠の工夫や緑地帯の設置により、主要な幹線道路及び鉄道沿線から望む農地と山並みが一体となった景観を保全する。
施設 工業地等	レクリエーション 周辺（田園景観）への配慮 ・敷地内及び敷地境界部への緑地帯の設置などにより、周辺のまとまりのある農地との調和に配慮する。 ・周辺に圧迫感を与えないよう、規模・配置、形態意匠を工夫する。



楠部町の田園景観



東大淀町の集落の景観



集落・農地ゾーン図

自然環境ゾーン

【景観特性】

自然環境ゾーンとなっている市域の南東部に広がる山林は、市の面積の約 50% を占めており、神宮林がその半分を占めています。昭和 21 年、自然公園法による伊勢志摩国立公園に指定され、神宮宮域を中心に自然環境の保全が行われています。

市域の南東部に広がる朝熊山麓や鷲嶺から続く山並みは、豊かな自然景観を形成しており、市街地の背景として、伊勢の景観の基盤となっています。

【景観形成の方針】

市街地の背景となっている山並みの保全

【景観要素ごとの方針】

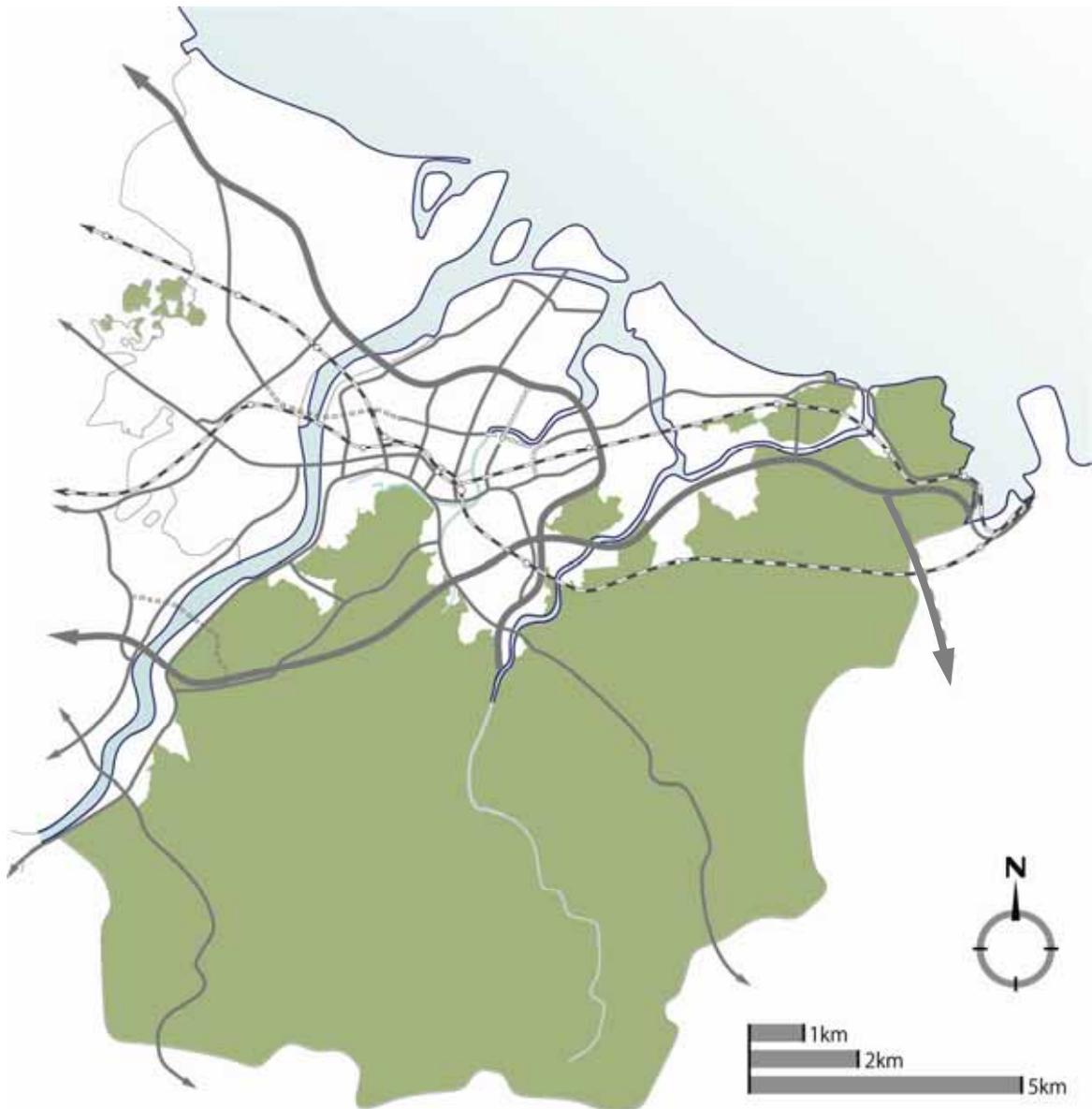
住宅地	<p>周辺（自然景観）への配慮</p> <ul style="list-style-type: none">・木竹の伐採は最小限とし、道路等公共の場所から望見できる敷地や擁壁等を緑化により修景するなど、周辺の自然景観との調和に配慮する。・建築物等は、極力目立たないよう規模・配置や形態意匠の工夫、外構の緑化などにより、周辺の自然景観との調和に配慮する。
山林	<p>山並みの保全</p> <ul style="list-style-type: none">・市の景観の基盤となっている神宮林をはじめとした山林景観の保全を図る。・木竹の伐採は最小限とし、道路等公共の場所から望見できる敷地や擁壁等を緑化により修景するなど、山並み景観の保全を図る。 <p>山並みの眺望保全</p> <ul style="list-style-type: none">・建築物等の規模や形態意匠の工夫、外構の緑化などにより、道路等公共の場所からの山並みの稜線の保全を図る。
里山	<p>里山の保全</p> <ul style="list-style-type: none">・木竹の伐採は最小限とし、道路等公共の場所から望見できる敷地や擁壁等を緑化により修景するなど、里山の保全を図る。
施設 工業地等	<p>レクリエーション</p> <p>周辺（自然景観）への配慮</p> <ul style="list-style-type: none">・敷地内及び敷地境界部へのまとまった緑地帯の設置などにより、周辺の自然景観との調和に配慮する。・木竹の伐採は最小限とし、道路等公共の場所から望見できる敷地や擁壁等を緑化により修景するなど、周辺の自然景観との調和に配慮する。



鹿海町（自然景観との調和）



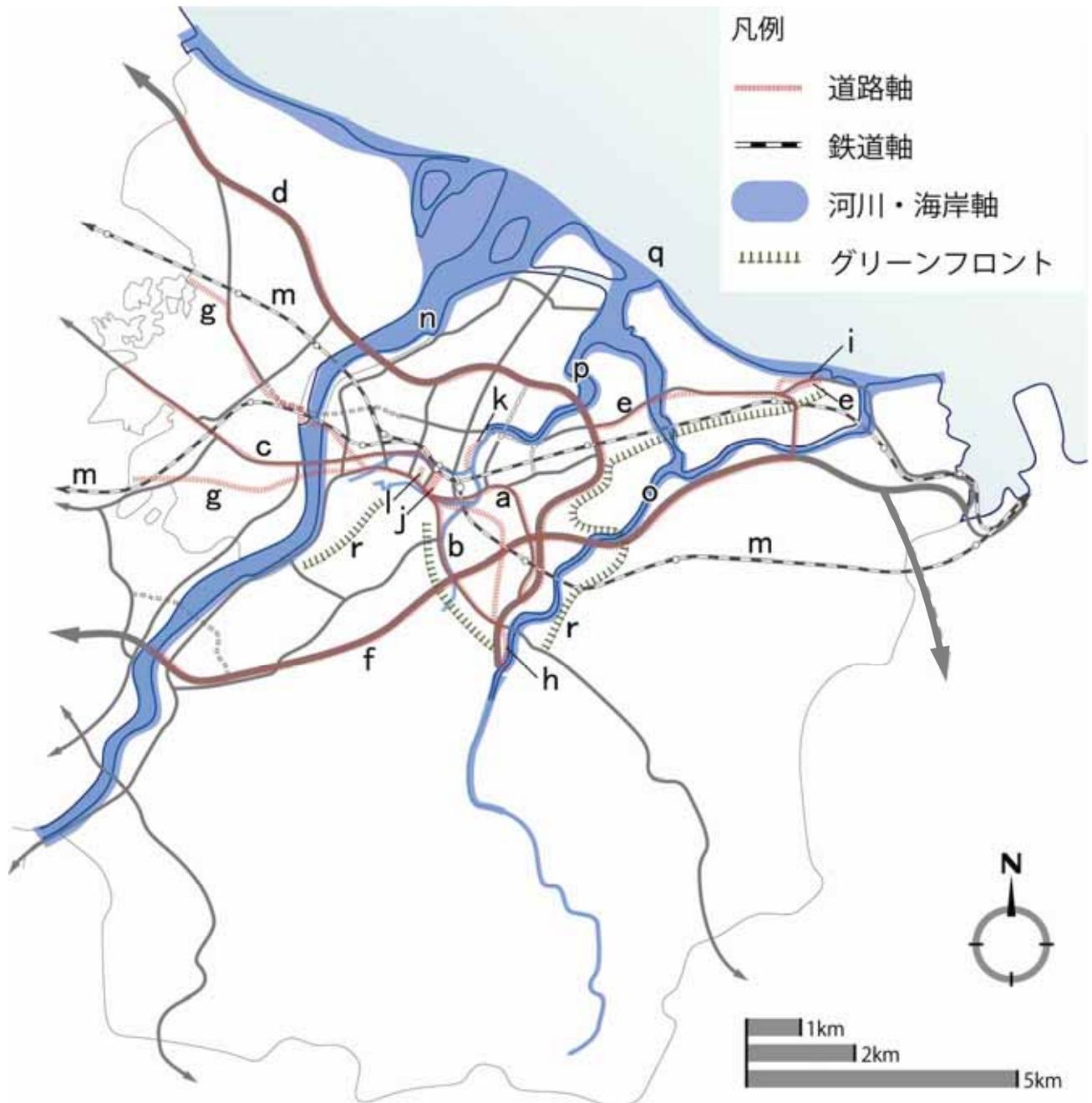
横輪町（里山の保全と調和）



自然環境ゾーン図

(2) 軸別の景観形成の方針

都市マスタープランで示す軸を基本として、本市の景観形成上、重要な軸について方針を示します。



軸別の景観形成方針図

道路

a 御幸道路ほか

【景観特性】

外宮・内宮をつなぐ御幸道路は、歩道の舗装はレンガ調のデザインを基本としており、街路樹は桜、楓、楠などが交互に植えられ、四季折々の景観が楽しめるなど、外宮・内宮へのアクセス道路として良好な景観が形成されています。特に、徴古館周辺では沿道の緑に包まれ、魅力ある空間となっています。また、伊勢市駅から外宮までの区間は、無電柱化が完了しており、中央分離帯や歩道では緑豊かな街路樹や低木植栽が伊勢市駅から開ける外宮の緑への眺望景観と調和し、本市のシンボル道路として良好な景観を形成しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・地域特性に応じた沿道の建築物等の形態意匠の配慮により、外宮・内宮へのアクセス道路にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・季節を演出する街路樹等の植栽により、四季折々の変化が楽しめる潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

b 御木本道路

【景観特性】

御木本道路は、市街地の主要な幹線道路であるとともに、外宮・内宮を連絡し、両宮の中央に位置する伊勢西インターチェンジから外宮・内宮にアクセスする道路です。

特に、外宮から伊勢西インターチェンジへ向かう区間は、鼓ヶ岳への眺望が、また、桜木町周辺沿道は、蓮台寺柿畑の秋に色づく景観が楽しめるなど、地域固有の景観を形成しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・地域特性に応じた沿道の建築物等の形態意匠の配慮により、外宮・内宮へのアクセス道路にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・敷地境界部の緑化の推進により、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

c 外宮度会橋線

【景観特性】

外宮度会橋線は、県道鳥羽松阪線の一部で、本市と松阪市を結ぶ広域幹線道路です。

中央分離帯や歩道の緑豊かな街路樹や低木植栽が、潤いのある良好な景観を形成しています。

また、JR伊勢市駅から浦口交差点の区間においては無電柱化事業が進行中です。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・地域特性に応じた沿道の建築物等の形態意匠の配慮により、市街地の主要な幹線道路にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・街路樹等の植栽により、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

d 国道23号

【景観特性】

国道23号は、松阪方面から内宮へ至る広域幹線道路であり、かつ、伊勢自動車道伊勢インターチェンジから内宮及び二見浦へのアクセス道路でもあります。

宮川大橋から勢田川橋までの区間は、沿道の自動車利用主体の商業・業務地となっており、屋外広告物が目立っています。

一方、勢田川橋から宇治浦田交差点までの区間は、中央分離帯や歩道の緑豊かな街路樹や低木植栽が、周辺の里山や田園の景観と一体となって、潤いのある良好な景観を形成しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・地域特性に応じた沿道の自然景観を保全することにより、内宮及び二見浦へのアクセス道路にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・街路樹等の植栽により、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

e 国道 42 号

【景観特性】

国道 42 号は、国道 23 号から二見浦や鳥羽方面へ至る広域幹線道路であり、かつ、観光交流拠点のひとつである二見浦へのアクセス道路となっています。

中央分離帯や歩道の緑豊かな街路樹や低木植栽が、潤いのある良好な景観を形成しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・ 地域特性に応じた沿道の建築物等の形態意匠の配慮により、二見浦へのアクセス道路にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・ 街路樹等の植栽により、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

f 伊勢自動車道・伊勢二見鳥羽ライン

【景観特性】

伊勢自動車道は、名古屋、大阪方面から市内に至る自動車専用道路であり、伊勢二見鳥羽ラインは、伊勢自動車道伊勢インターチェンジから二見浦に至る自動車専用道路に準じた道路です。また、本市の重要な観光交流拠点へのアクセス道路となっています。

中央分離帯の緑豊かな街路樹や低木植栽が、潤いのある良好な景観を形成しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・ 沿道の自然景観を保全することにより、本市への自動車交通のアクセス道路にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・ 沿道の緑化の推進により、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

g 伊勢歴史の道

【景観特性】

伊勢歴史の道はかつての参宮街道（伊勢街道・熊野街道）であり、沿道には切妻・妻入りのまちなみや道標、街道の合流地点であった筋向橋の欄干など、街道としての歴史を彷彿させる歴史資源が点在しています。

また、宮川右岸においては、遷宮行事の一つであるお木曳行事やお白石持行事が行われます。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・沿道のまちなみの保全により参宮街道としての歴史性を汲んだ魅力ある沿道景観の形成を図る。
- ・宮川から外宮間、外宮から内宮間（古市街道）は、歴史性のある街道として、かつ、お木曳やお白石持行事にふさわしい道として、沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・沿道の敷地内における庭木や生垣等の緑化による、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

h 内宮おはらい町通り

【景観特性】

内宮おはらい町通りは、内宮の鳥居前町として発展してきた通りです。失われつつあった伊勢特有の切妻・妻入りのまちなみを保全・再生するため、地域住民が中心となりまちなみ保全に取り組んできました。

また、これに合わせ、無電柱化や石畳舗装等による道路の美装化が完了しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・歴史的なまちなみの保全により、内宮の鳥居前町にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・沿道の建物軒下等への花等の設置により、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

i 夫婦岩表参道

【景観特性】

夫婦岩表参道は、二見興玉神社の参道として発展してきた通りで、木造旅館や土産物屋が建ち並んでいます。

現存するまちなみを積極的に保全し、後世に伝え残していくために、地域の主体的な取組のもとで景観形成に取り組んでおり、道路の美装化も完了しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・歴史的なまちなみの保全により、地区の景観特性を活かした魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・沿道の建物軒下等への花等の設置による、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

j 外宮参道

【景観特性】

外宮参道は、伊勢市駅から外宮を結ぶ通りで、かつては路面電車が走り、木造旅館が建ち並んでいました。現在は、外宮への参道の雰囲気を感じられる通りとして、無電柱化や石畳舗装等による道路の美装化が完了しています。

近年、地域の主体的な取組により、行灯が連続的に設置されており、伊勢楽市や灯りイベントなどが行われるなど、外宮への参道としての雰囲気づくりが進んでいます。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・外宮の森への眺望景観や歴史的な建築物を保全し、伊勢市駅から外宮までの人の流れを誘導するような、参道にふさわしい魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・地域のまちづくり活動による、花等による緑化、清掃活動などの継続による、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

k 河崎本通り

【景観特性】

河崎本通りは、勢田川の水運を活かして発展した問屋街で、川沿いや通り沿いに残る蔵や町屋が、伊勢の台所として繁栄した歴史を伝えています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・歴史的なまちなみの保全により、地区の景観特性を活かした魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・沿道の建物軒下等への花等の設置による、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

l 神路通り

【景観特性】

神路通りは、外宮北御門から月夜見宮をつなぐ通りで、「神が通る道」という意味から神路通りと呼ばれています。

近年、地元の主体的な取組により、案内板などが設置されており、沿道敷地に植えられているしだれ桜とともに、地域固有の景観を形成しています。



【景観形成の方針】

魅力ある沿道景観の形成

- ・地区の歴史的な環境に配慮したまちなみの保全により、地区の歴史性や景観特性を活かした魅力ある沿道景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・沿道の建物軒下等への花等の設置による、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

m JR線及び近鉄線

【景観特性】

JR参宮線及び近鉄山田線は、名古屋から市内に至る鉄道利用者の広域的なアクセスルートとなっています。

鉄道の車窓からは、山並みを背景とした宮川の広大な河川景観や沿線に広がる田園景観、地域の南東部に広がる山林などの緑豊かな景観を楽しむことができます。



【景観形成の方針】

魅力ある沿線景観の形成

- ・沿線の建築物等の形態意匠の配慮により、伊勢への鉄道利用者のアクセスルートとして、良好な景観の形成を図る。

潤いのある都市空間の形成

- ・沿線の緑化の推進により、潤いのある都市空間及び緑のネットワークの形成を図る。

n 宮川

【景観特性】

宮川の広大な河川景観は市域の南東部の山並みを背景に、桜並木などの緑豊かな自然景観を形成しています。また、日本屈指の清流として知られ、桜の名所、花火大会の場として親しまれています。かつては参宮客が心身を清めた禊の場でもあり、桜の渡し、柳の渡し等、船での渡河を行っていました。



お木曳行事においては、度会橋付近にどんでん場が設けられ、お木曳のスタート地点となっています。

【景観形成の方針】

広がりのある眺望の保全

- ・山並みと一体となった広がりのある眺望や、伊勢湾へとつながる開放感ある河口の眺望景観の保全を図る。

周辺景観との調和

- ・建築物等の規模・配置や形態意匠の配慮により、流域の自然景観と一体となった景観の形成に努める。

潤いのある河川景観の形成

- ・流域の緑や桜の名所として川堤の桜の保全に努めるとともに、河川の景観を楽しむ散策ルートなどの親水空間の確保等による、潤いある河川景観の形成を図る。

水質環境の保全

- ・日本屈指の清流として、良好な水質環境の維持・保全に努める。

○ 五十鈴川

【景観特性】

五十鈴川上流は、神宮宮域の自然林の中や山裾を流れ、内宮と一体となった景観を形成しています。また、中流から下流にかけての低地部ではまとまりのある田園景観が広がっています。



内宮周辺は、お木曳行事の川曳の舞台でもあり、川底には石畳が敷き詰められ、特に浦田橋から内宮宇治橋に至る区間は、石積みによる護岸整備がなされ、川堤には桜が咲き、神宮林を背景として、美しい四季の移ろいを感じられます。

【景観形成の方針】

広がりのある眺望の保全

- ・ 広がりのある田園景観と一体となった眺望景観の保全を図る。

周辺景観との調和

- ・ 建築物等の規模・配置や形態意匠の配慮による、流域の自然景観と一体となった景観の形成に努める。
- ・ 浦田橋から内宮宇治橋までの区間は、内宮おはらい町との一体的な景観の形成を図る。

潤いのある河川景観の形成

- ・ 流域の緑や桜の名所として川堤の桜の保全に努めるとともに、河川の景観を楽しむ散策ルートとして、親水空間の確保等による、潤いある河川景観の形成を図る。

水質環境の保全

- ・ 神宮宮域を流れる神聖な河川として良好な水質環境の維持・保全に努める。

p 勢田川及びその支流

【景観特性】

勢田川は、市街地の中心部を流れる市民に最も身近な河川です。

かつてはその水運により河崎の間屋街の発展を支えてきました。舟参宮によっても栄え、二軒茶屋や河崎には往時の面影が残ります。

現在は市民等により、木造船の運航や海の駅、川の駅を活用したイベントの開催、水質改善や管理道路周辺の緑化の取組が行われています。



【景観形成の方針】

舟上からの眺望への配慮

- ・河崎の間屋街の発展を導いた水運としての歴史性を大切にし、河崎のまちなみと一体となった景観の形成を図る。

水辺と調和したまちなみ景観の形成

- ・かつての舟参宮ルートとして、舟上からの眺望景観の保全に努めるとともに、川に背を向けないなど、河川沿いの建築物等の形態意匠に配慮し、流域のまちなみと一体となった景観の形成を図る。

潤いのある河川景観の形成

- ・水辺を演出する緑化や花いっぱい運動等の取組、川の駅・海の駅を活かした歴史を伝える取組などの、多様な市民活動等を活かした、潤いある河川景観の形成を図る。
- ・豊川や清川などの勢田川の支流は、暗渠部分を開渠化するなど親しみのある水路となるよう努める。

水質環境の保全

- ・市民に親しまれている河川として、水質の改善に努める。

q 伊勢湾岸

【景観特性】

伊勢湾岸は、古くから港町として発達し、江戸時代には海からの舟参宮の玄関口として賑わいました。ウミガメの産卵でも知られる大湊海岸をはじめ、豊浜、北浜など穏やかな海岸景観が広がっています。

一方で、津波や高潮などの災害の危険性とも隣り合わせとなっており、安全性の確保を最優先に、豊かな自然景観の保全を図る必要があります。



【景観形成の方針】

広がりのある眺望の保全・舟上からの眺望への配慮

- ・ 海岸部における建築物等の規模や形態意匠の配慮により、海岸線から広がりのある伊勢湾への眺望景観の保全を図る。

水辺と調和したまちなみ景観の形成

- ・ 海の玄関口として、舟上や対岸から眺望できる水辺沿いの建築物等の規模・配置や形態意匠に配慮し、水辺と調和した景観の形成を図る。

潤いのある海岸景観の形成・水辺の植生

- ・ 大湊海岸などにおける生態系、豊浜、北浜などの砂浜や海岸部の干潟や植生等の豊かな自然景観の保全を図るとともに、これらの自然景観との調和に配慮した海岸部の創出により、潤いある海岸景観の形成を図る。

r グリーンフロント

【景観特性】

市域の南東部には、神宮林を中心としてまとまった山林や里山が広がっており、北部に広がる市街地とこれらの山林の際（きわ）のラインは市域の中央部をおおよそ東西に連なり、市街地の限界線となって市街地の背景となる景観を形成しています。

一方で近年、耕作放棄地も発生しており、この市街地の限界線をグリーンフロントとして、連続性ある緑豊かな景観の保全が求められます。



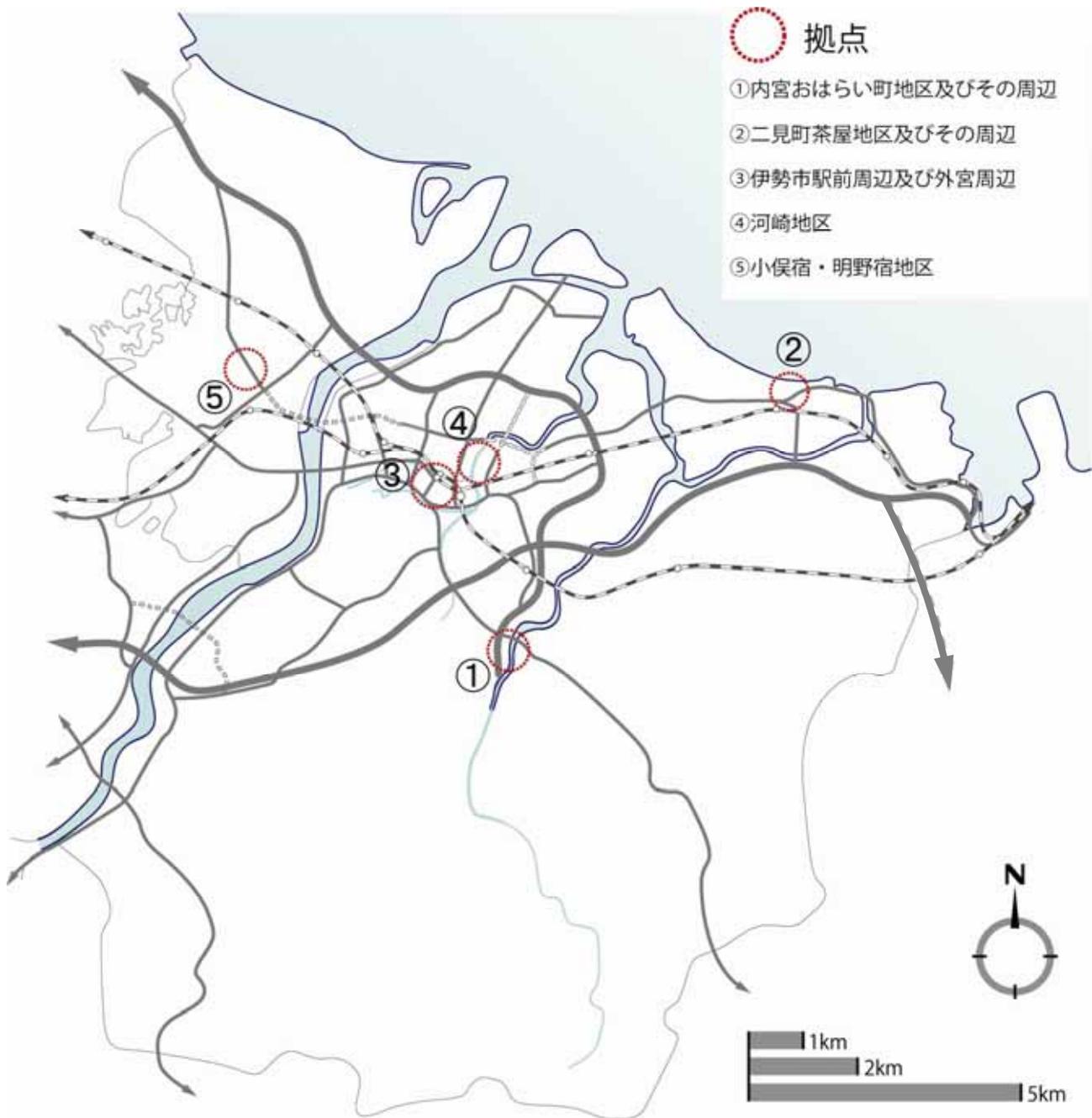
【景観形成の方針】

グリーンフロントの保全と創出

- ・ 連続性のある緑豊かな空間として、市街地と山林の境界域での緑をグリーンフロントとして、その保全と創出を図る。
- ・ 行為にともなう木竹の伐採は最小限とし、道路等公共の場所から望見できる敷地や擁壁等を緑化により修景することなどにより、緑と地形の連続性を活かした景観の形成を図る。

(3) 拠点別の景観形成の方針

都市マスタープランで示す拠点を基本として、本市の景観形成上、重要な拠点について方針を示します。



拠点別の景観形成方針図

内宮おはらい町地区及びその周辺

【景観特性】

内宮おはらい町地区及びその周辺は、五十鈴川沿いに古くから内宮の鳥居前町として発展してきた地区です。失われつつあった伊勢特有の切妻・妻入りのまちなみを保全・再生するため、地域住民が中心となり、まちなみ保全に取り組んできました。また、これに合わせ、無電柱化や石畳舗装等による道路の美装化が完了しています。



【景観形成の方針】

歴史的まちなみの保全

- ・地域の特性を活かした景観形成基準に基づく建築物等の形態意匠等の配慮により、まちなみを保全することにより、内宮の鳥居前町としてふさわしいおもてなしの場としての賑わいの創出を図る。

生活のにおいのするまちづくり

- ・古い建物をそのまま保存するのではなく、住民の居住性を考慮した「生活のにおいのするまちづくり」を推進する。

歴史的まちなみの背景の眺望保全

- ・内宮おはらい町地区のまちなみの背景となる、神宮宮域林や五十鈴川等の豊かな自然景観への眺望の保全を図る。

二見町茶屋地区及びその周辺

【景観特性】

二見町茶屋地区及びその周辺は、二見興玉神社の参道として発展してきた地区で、木造旅館や土産物屋が建ち並んでいます。現存するまちなみを積極的に保全し、後世に伝え残していくために、地域の主体的な取組のもとで景観形成に取り組んでおり、道路の美装化も完了しています。



【景観形成の方針】

歴史的まちなみの保存

- ・歴史的・文化的な趣きが色濃く残る建物等を次世代へ継承するよう、歴史的なまちなみの保存に努める。

歴史的まちなみとの調和

- ・建築物等の形態意匠は、歴史的なまちなみとの調和に配慮する。

歴史的まちなみの背景の眺望保全

- ・二見町茶屋地区のまちなみの背景となる音無山への眺望景観の保全を図る。

海岸との一体性に配慮したまちなみ形成

- ・海岸部における建築物等の規模や形態意匠の配慮により、地区のまちなみの背景となる二見浦の海岸線や音無山への眺望景観の保全を図るとともに、海岸との一体性に配慮したまちなみの形成を図る。

伊勢市駅周辺及び外宮周辺

【景観特性】

伊勢市駅周辺及び外宮周辺は、外宮の鳥居前町として古くから発展し、参宮街道を中心に参宮客をもてなす御師の館が点在し、繁栄していました。現在は広域幹線道路沿道を中心に都市化が進んでいますが、まちなかには世古と呼ばれる近世から残る路地や豊川などの小河川が残り、落ち着いた歩行者空間が形成されています。



【景観形成の方針】

伊勢市の顔となる魅力ある都市空間の形成

- ・伊勢市の顔として、また市民の交流や活動の場として市民が誇りをもてるよう、低層部や舗装の工夫等により、賑わいと魅力ある都市空間の形成を図る。

外宮の森への眺望保全

- ・魅力ある伊勢市の顔づくりとして、伊勢市駅から外宮までの地区は、外宮の森の稜線の保全に配慮した高さ、形態意匠等により、外宮の森への眺望景観の保全を図る。

潤いのある歩行者空間の形成

- ・街路樹等による緑化や敷地内へのシンボルツリー・庭木、生垣の植栽、世古の空間を演出する花等の設置、小河川の開渠化による水辺の再生などにより、潤いのある歩行者空間の形成を図る。

河崎地区

【景観特性】

河崎地区は、勢田川の水運を活かして発展した問屋街で、川沿いの石積みの蔵、本通り沿いの商家、建物を演出する世古道など、伊勢の台所として繁栄した当時の面影を感じることができまちなみが残っています。現在は主に住宅地となっていますが、新しいものと古いものが併存する生活観のある景観を形成しています。



【景観形成の方針】

地区の骨格の特徴の活用

- ・勢田川や河崎本通りのまちなみ、世古、環濠跡、河辺七種神社等の、地域を特徴づける景観要素を保全するとともに、その活用を図る。

歴史的まちなみの保全

- ・「伊勢の台所」と呼ばれた本地区に現存している町屋や蔵等を次世代へ継承するよう、歴史的まちなみの保全を図る。

歴史的まちなみとの調和

- ・建築物等の形態意匠は、歴史的なまちなみとの調和に配慮する。

勢田川との一体性に配慮したまちなみ形成

- ・地区のまちなみを特徴づける川沿いのまちなみの保全を図るとともに、通りから勢田川への繋がりなど、河川景観との一体性に配慮したまちなみの形成を図る。

小俣宿・明野宿地区

【景観特性】

お伊勢参りの最後の宿場町として、伊勢街道沿いに発展し、現在も一部の建築物などにその面影を残しています。

一部地域において、建築物や生垣など統一感のあるまちなみが昭和以降に新たに形成されています。



【景観形成の方針】

歴史的まちなみの保全

- ・伊勢街道沿いの宿場町として面影を残す小俣宿・明野宿地区などに現存している歴史的な建築物等を次世代へ継承するよう、歴史的趣きのある建築物が連なった連続性のあるまちなみの保全を図る。

歴史的まちなみとの調和

- ・建築物等の形態意匠は、歴史的なまちなみとの調和に配慮する。